

ほけんだより 12月号

社会福祉法人 慈愛会 あかまえこども園・さくらんぼ分園
令和2年12月 発行



正しい手洗い・消毒液の使い方

感染症対策の基本として「手洗い」「手指消毒」があるのですが、どちらも正しい方法で行わなければ、きちんとした効果を得ることができません。そのため、今回は「手洗い」と「手指消毒」の正しい方法についてお話しします。

～手洗いを行うタイミング～

- * 外から帰宅した時
- * 咳やくしゃみ、鼻をかんだ時
- * 調理、食事の前
- * 掃除、洗濯の後
- * トイレの後、オムツ交換の前後
- * 多くの人が触れる場所を触った後



～消毒のポイント～

- * 汚染、濡れている所には使用しない。
汚れや水分は拭き取った後に消毒を行う。(消毒の効果が落ちるため)
- * 汚れている所へ吹きかけるだけでなく、一筆書きの要領で拭き取る
(不完全な消毒やウイルスが舞い上がる原因になる)
- * ペーパータオルや布巾を使って拭き取る・清潔なものを使用する
(濡れている所や物には菌が増殖している可能性有)
- * 高い所から低い所へ向かって拭き取る
- * 引火性があるため**火気に注意!**
- * **揮発性(蒸発しやすい性質)**があるため
しっかりとフタを閉めて保管する。



冬場でも換気が重要です

新型コロナウイルス感染症は3密(密閉、密集、密接)の場で広がりやすいことがわかっています。様々な予防対策の1つとして換気が有効とされていますが、冬場は寒いので換気の回数が減ってしまうのが難点です。

いわて感染制御支援チームによると換気は窓を1時間に5分でも、5センチ程度開けるだけでも良いそうです。家庭内での消毒も大事です。ご家族で体調のすぐれない方がいる場合は可能な限り部屋を分けた方がよいでしょう。